

# GPプレコンEX

## (転落防護柵基礎一体型L型擁壁)

印刷用Webページ



高さ750~3000mmまで規格化された擁壁の天端に転落防護柵のフェンスを付ける事ができます。天端にはフェンス用の穴が付いています。フェンス基礎が不要のため、土地の有効活用ができます。



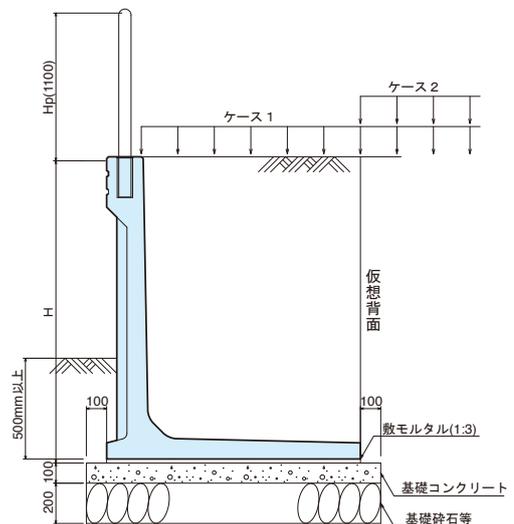
### 【特徴】

- L型擁壁の天端にフェンス支柱用の穴が付いています。
- フェンス基礎が不要になるので、土地の有効活用ができます。
- 上記写真のデザインが標準仕様になっています。

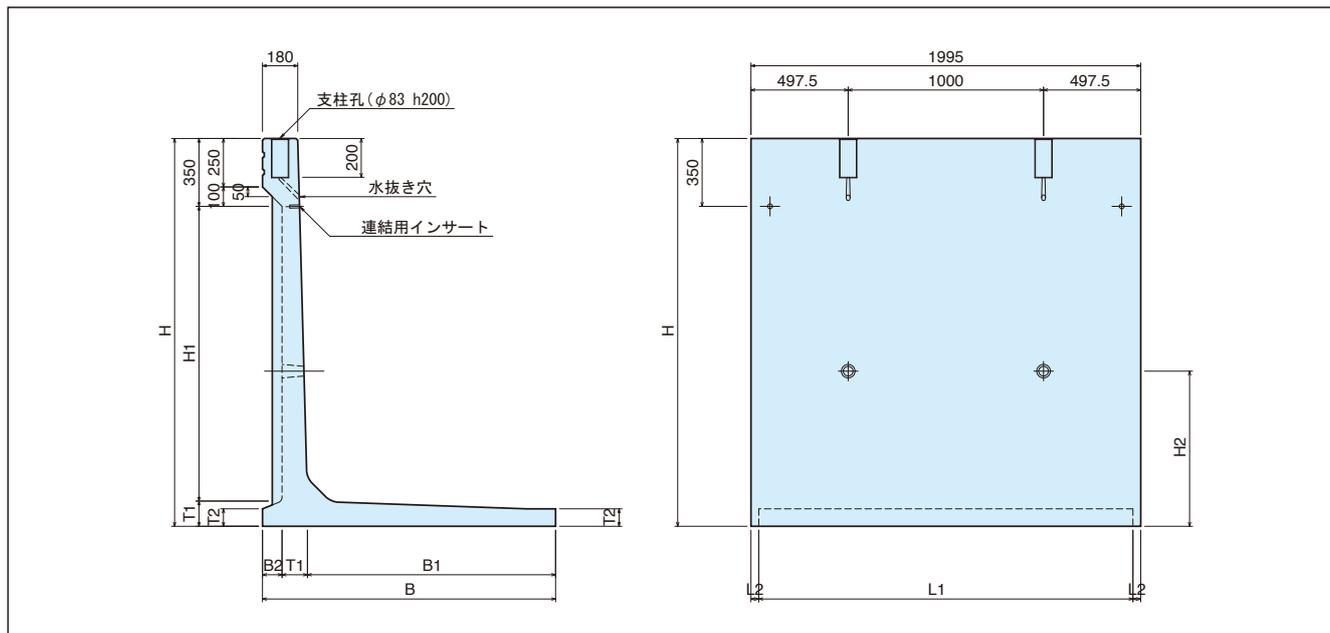
### 【設計条件】

上載荷重	q=10kN/m <sup>2</sup> (ケース1、ケース2対応) ケース1、ケース2の両方について安全である
コンクリートの単位体積重量	24.5kN/m <sup>3</sup>
土の単位体積質量	19.0kN/m <sup>3</sup>
土圧算定式	試行くさび法
内部摩擦角	Φ=30° (砂質土)
摩擦係数	μ=0.6
盛土勾配	水平
水平方向力	PH=0.39kN/m
鉛直方向力	PV=0.59kN/m
内カーブの施工	最小半径R=50m

### 【標準施工図】



[形状図]



[規格表]

呼び名	形状寸法(mm)										参考質量 (Kg)
	H	B	H1	H2	B1	B2	T1	T2	L1	L2	
H-750	750	1,000	315	300	820	100	80	80	1,937	29	803
H-1,000	1,000	1,050	560	500	860	100	90	80	1,930	33	959
H-1,250	1,250	1,150	805	550	955	100	95	80	1,919	38	1,144
H-1,500	1,500	1,250	1,045	550	1,045	100	105	80	1,921	37	1,354
H-1,750	1,750	1,400	1,275	800	1,175	100	125	80	1,911	42	1,684
H-2,000	2,000	1,500	1,520	800	1,270	100	130	90	1,904	46	1,942
H-2,250	2,250	1,650	1,750	1,050	1,400	100	150	90	1,902	47	2,337
H-2,500	2,500	1,800	1,980	1,050	1,530	100	170	90	1,891	52	2,752
H-2,750	2,750	1,950	2,210	1,300	1,660	100	190	90	1,881	57	3,232
H-3,000	3,000	2,050	2,440	1,300	1,740	100	210	90	1,875	60	3,701

[ジョイント部]



[地盤反力度表]

単位 kN/m<sup>2</sup>

H-750	31
H-1,000	40
H-1,250	49
H-1,500	59
H-1,750	68
H-2,000	79
H-2,250	89
H-2,500	98
H-2,750	107
H-3,000	119